



授業を通じたキャリア教育の実践

副校長 大内恵子

9月9日（水）高等部において、作業学習陶芸班の研究授業を行いました。単元は「光陵祭に向けての作品を作ろう」、テーマは「丁寧に、集中して、を自分の言葉で表し取り組もう」です。陶芸班の生徒8名で、お皿やマグカップをつくる工程のうち、粘土を成形する作業を行いました。

この授業のねらいとして、「丁寧に、集中して、などの曖昧な言葉を、**自分の言葉で表し、取り組めるようにする**」「**自分で製品の出来栄を確かめられるようにする**」が設定され、目標立てや振り返りに反映できるよう授業が組み立てられました。また、**人とかかわりを大切にする**ため、片付けは教師が役割を決めるのではなく、生徒たちが**自分たちで状況に応じて選択・分担していく**形で進められました。

生徒の様子を観察すると、朝礼での個人目標発表では、「手元をよくみる」「爪の痕が残らないようにする」など、丁寧に作業する具体策が述べられていました。作業中は一つの工程が終了したところで、作品の出来栄を確かめ終了報告をする姿が見られました。報告手順の理解が進んでいなかった生徒も、終礼ではそのことを的確に振り返ることができ、次の取り組みに繋げる意気込みを見せていました。

また、3年生の生徒が「気仙印」を押す意味を、近くの教員に説明する姿が見られ、担当教員からは「そのことを光陵祭でお客様に説明することができますね」と**社会とのつながり**に向けた声掛けがなされていました。

キャリア教育は「働くこと」だけでなく、「生活する力」、「人とかかわる力」、「自分で選び決める力」、「社会に参加する力」を日常の学習や学校生活全体を通して育てることを目指しています。本校のキャリア教育の実践例として、本授業をご紹介させていただきました。

本校では今後も、授業を通してこれらの力を育むと共に、日常のかかわりを通して、生徒たちの将来を見据えた支援を継続してまいります。



中学部 インターンシップ(就業体験)

7月1日（水）に、中学部3年生3名がインターンシップに行ってきました。今年度は就労継続支援B型事業所の「@かたつむり」さんで木製コースターのやすりがけを体験させていただきました。これまでの校内実習で学んできたことを元に目標を立て、意欲的に取り組むことができました。



PTA 進路研修会

令和8年度 PTA 進路研修会が7月23日（木）に開催されました。

本研修会では、社会福祉法人燦々会相談支援事業所さんさんの千葉昭郎様をお招きし、障害基礎年金についてご講話頂きました。参加された保護者様からは「気になっていたことなので聞けて良かった」「卒後ではなく、今から準備が大切だと思った」等、様々な感想が寄せられました。

